

令和6年度第2回市川三郷町地域公共交通会議 次第

と き：令和6年11月8日（金）午後2：00

ところ：市川三郷町役場 1階大会議室

1 会長あいさつ

2 議事

（1）令和5年度コミュニティバス実績報告について

（2）地域公共交通計画の策定について

・計画骨子案（11月時点の想定） ……資料2－1

・各種調査の実施について（各アンケート調査） ……資料2－2

（3）その他

3 その他

4 おわりのことば

メモ

令和6年度第2回市川三郷町地域公共交通会議 席次表

副会長
一町役場
瀬場浩括

会長
山梨大学
教授
武藤大学
学院
一

入
口

	○	○	
町防災課長 丹沢 真樹	○		○ 利用者・住民代表 長濱 哲人
山梨交通（株）鯉沢営業所 望月 一朗 （代理 高石政洋）	○		○ 利用者・住民代表 笠井 鈴治
（株）三交代表 小沢 一也 （代理 小沢二女）	○		○ 利用者・住民代表 鈴木 晴久
（有）鯉沢タクシー代表 杉山 昌也	○		○ 利用者・住民代表 有泉 志づ子
（有）豊栄タクシー代表 小幡 久佳	○		○ 利用者・住民代表 小林 崇
峡南建設事務所長 内藤 浩史 （代理 渡邊健二）	○		○ 町教育総務課長 櫻井 茂
町建設課長 立川 潔	○		○ 町女性団体連絡協議会長 青柳 みゆき
鯉沢警察署長 渡邊 孝 （代理 古谷武和）	○		○ 市川三郷町商工会長 青沼 博
山梨運輸支局首席 服部 陽介 （代理 鈴木一雄）	○		○ 町民生委員児童委員協議会長 有泉 みさを
県リニア・次世代交通推進G リニア・次世代交通推進監 矢野 久 （代理 小宮山息吹）	○		○ 町シニアクラブ連合会長 青沼 隆三
			○ 町社会福祉協議会長 塩島 明美 （代理 近藤真弓）
	○ ○	○ ○	

事務局・コンサル

令和6・7年度 市川三郷町地域公共交通会議 委員名簿

(順不同・敬称略)

区分	団体名	役職	氏名	役職
法第6条第2項第1号 (地域公共交通計画を作成しようとする地方公共団体)	市川三郷町役場	統括	一瀬 浩	副会長
	市川三郷町役場防災課	課長	丹沢 真樹	
法第6条第2項第2号 (関係する公共交通事業者等、道路管理者、その他地域公共交通計画に定めようとする事業を実施すると見込まれる者)	一般社団法人山梨県バス協会	専務理事	篠原 勇	
	一般社団法人山梨県タクシー協会	常務理事	菊島 貴	
	山梨交通株式会社	代表取締役	雨宮 正英	
	山梨交通株式会社鰍沢営業所	運転士	望月 一朗	
	株式会社三交	代表取締役	小沢 一也	
	有限会社鰍沢タクシー	代表取締役	杉山 昌也	
	有限会社豊栄タクシー	代表取締役	小幡 久佳	
	山梨県峡南建設事務所	所長	内藤 浩史	
	市川三郷町役場建設課	課長	立川 潔	
法第6条第2項第3号 (関係する公安委員会)	山梨県警 鰍沢警察署	署長	渡邊 孝	
法第6条第2項第4号 (地域公共交通の利用者、学識経験者、その他当該地方公共団体が必要と認められる者)	関東運輸局山梨運輸支局	首席運輸 企画専門官	服部 陽介	
	山梨県知事政策局 リニア・次世代交通推進グループ	リニア・次世代 交通推進監	矢野 久	
	山梨大学大学院	教授	武藤 慎一	会長
	市川三郷町社会福祉協議会	会長	塩島 明美	
	市川三郷町シニアクラブ連合会	会長	青沼 隆三	
	市川三郷町民生委員児童委員協議会	会長	有泉 みさを	
	市川三郷町商工会	会長	青沼 博	監事
	市川三郷町女性団体連絡協議会	会長	青柳 みゆき	監事
	市川三郷町役場教育総務課	課長	櫻井 茂	
	利用者・住民代表		小林 崇	
	利用者・住民代表		有泉 志づ子	
	利用者・住民代表		鈴木 晴久	
	利用者・住民代表		笠井 鈴治	
	利用者・住民代表		長濱 哲人	

※法:地域公共交通の活性化及び再生に関する法律

市川三郷町 地域公共交通会議事務局	市川三郷町役場政策推進課	課長	渡辺 潤	事務局長
	市川三郷町役場政策推進課政策推進係	係長	渡辺 元樹	
	市川三郷町役場政策推進課政策推進係	主査	仲亀 裕紀	

コミュニティバス三珠線 運行結果

令和6年3月末現在

◎車の形状： 10人乗りバス（運転手1名+乗客9名）

◎運行期間： 令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日 までの平日
実運行日数： 242 日
運休・欠行： R5.6.2（金）1便運休（18：10発）
R6.2.5（月）1便運休（18：10発）
R6.2.6（火）5便運休（全便）
R6.3.6（水）1便運休（07：06発）
走行距離： — km

◎乗車数	総数	1,273 人	（月別の乗車人数（往復述べ）の合計）
	1日平均	5.25 人	（月別の1日あたりの乗車人数の平均）
	1便平均	2.02 人	（月別の1便あたりの乗車人数の平均）
	全体乗車率	22.39 %	（月別の1便あたりの乗車率の平均）

◎月別集計

月別	乗車人数 （往復延べ）	稼働日数	1日あたりの 乗車人数	1便あたりの 乗車人数	1便あたりの 乗車率
4月	98 人	20 日	4.90 人	1.97 人	21.89 %
5月	106 人	20 日	5.30 人	1.93 人	21.44 %
6月	109 人	22 日	4.95 人	1.94 人	21.52 %
7月	110 人	20 日	5.50 人	2.18 人	24.22 %
8月	131 人	22 日	5.95 人	2.14 人	23.78 %
9月	113 人	20 日	5.65 人	2.21 人	24.56 %
10月	135 人	21 日	6.43 人	2.39 人	26.56 %
11月	108 人	20 日	5.40 人	2.12 人	23.50 %
12月	96 人	20 日	4.80 人	2.01 人	22.33 %
1月	87 人	19 日	4.58 人	1.77 人	19.66 %
2月	93 人	18 日	5.17 人	1.85 人	20.59 %
3月	87 人	20 日	4.35 人	1.71 人	19.00 %
合計	1,273 人	242 日	—	—	—

◎曜日別集計

曜日別	乗車人数 （往復延べ）	稼働日数	1日あたりの 乗車人数	1便あたりの 乗車人数	1便あたりの 乗車人数
月曜日	39 人	46 日	0.85 人	0.42 人	4.71 %
火曜日	606 人	50 日	12.12 人	2.42 人	26.93 %
水曜日	28 人	49 日	0.57 人	0.29 人	3.17 %
木曜日	544 人	50 日	10.88 人	2.18 人	24.18 %
金曜日	56 人	47 日	1.19 人	0.60 人	6.62 %
合計	1,273 人	242 日	—	—	—

◎便別集計

便別	乗車人数 （延べ）	稼働日数	1日あたりの 乗車人数	1便あたりの 乗車人数	1便あたりの 乗車人数
7:06発下り	353 人	242 日	1.46 人	1.46 人	16.21 %
10:06発下り	313 人	100 日	3.13 人	3.13 人	34.78 %
7:58発上り	105 人	100 日	1.05 人	1.05 人	11.67 %
11:58発上り	409 人	100 日	4.09 人	4.09 人	45.44 %
18:10発上り	93 人	242 日	0.38 人	0.38 人	4.27 %
合計	1,273 人	—	—	—	—

◎1人あたりコスト

委託料 燃料費 修繕その他 利用料その他 乗車人数
2,400,000 + 0 + 0 - 317,100 ÷ 1,273 = 1,636 円

◎利用料収入

— 円

コミュニティバス山保線 運行結果

令和6年3月末現在

◎車の形状： 10人乗りバス

◎運行期間： 令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日 まで
実運行日数： 143 日
運休・欠行： なし
走行距離： 15,718 km

◎乗車数	総数	1,486 人	(往復延べ人数)
	1 日平均	10.39 人	
	1 便平均	2.59 人	
	全体乗車率	28.86 %	

◎月別集計

月別	乗車人数 (往復延べ)	稼働日数	1 日あたりの 乗車人数	1 便あたりの 乗車人数	乗車率
4月	127 人	12 日	10.58 人	2.65 人	29.40 %
5月	136 人	12 日	11.33 人	2.83 人	31.48 %
6月	140 人	13 日	10.77 人	2.69 人	29.91 %
7月	130 人	12 日	10.83 人	2.71 人	30.09 %
8月	125 人	12 日	10.42 人	2.60 人	28.94 %
9月	118 人	13 日	9.08 人	2.27 人	25.21 %
10月	153 人	13 日	11.77 人	2.94 人	32.69 %
11月	130 人	12 日	10.83 人	2.71 人	30.09 %
12月	121 人	11 日	11.00 人	2.75 人	30.56 %
1月	106 人	11 日	9.64 人	2.41 人	26.77 %
2月	86 人	10 日	8.60 人	2.15 人	23.89 %
3月	114 人	12 日	9.50 人	2.38 人	26.39 %
合計	1,486 人	143 日	—	—	—

◎曜日別集計

曜日別	乗車人数 (往復延べ)	稼働日数	1 日あたりの 乗車人数	1 便あたりの 乗車人数	乗車率
月曜日	453 人	48 日	9.44 人	2.36 人	26.22 %
水曜日	499 人	49 日	10.18 人	2.55 人	28.29 %
金曜日	534 人	46 日	11.61 人	2.90 人	32.25 %
合計	1,486 人	143 日	—	—	—

◎便別集計

便別	乗車人数 (延べ)	稼働日数	1 日あたりの 乗車人数	1 便あたりの 乗車人数	乗車率
7:35発下り	531 人	143 日	3.71 人	3.71 人	41.26 %
11:43発上り	435 人	143 日	3.04 人	3.04 人	33.80 %
13:35発下り	260 人	143 日	1.82 人	1.82 人	20.20 %
16:39発上り	260 人	143 日	1.82 人	1.82 人	20.20 %
合計	1,486 人	—	—	—	—

◎1人あたりコスト

委託料 燃料費 修繕その他 利用料その他 乗車人数
1,620,000 + 353,508 + 74,811 - 22,700 ÷ 1,486 = 1,363 円

◎利用料収入

22,700 円

コミュニティバス六郷線 運行結果

令和6年3月末現在

◎車の形状： 29人乗りバス

◎運行期間： 令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日 までの平日

実運行日数： 243 日

運休・欠行： なし

走行距離： — km

◎乗車数	総数	4,253 人	(往復延べ人数)
	1 日平均	17.50 人	
	1 便平均	1.59 人	
	全体乗車率	6.12 %	

◎月別集計

月別	乗車人数 (往復延べ)	稼働日数	1日あたりの 乗車人数	1便あたりの 乗車人数	乗車率
4月	417 人	20 日	20.85 人	1.90 人	7.29 %
5月	393 人	20 日	19.65 人	1.79 人	6.87 %
6月	372 人	22 日	16.91 人	1.54 人	5.91 %
7月	336 人	20 日	16.80 人	1.53 人	5.87 %
8月	287 人	22 日	13.05 人	1.19 人	4.56 %
9月	378 人	20 日	18.90 人	1.72 人	6.61 %
10月	350 人	21 日	16.67 人	1.52 人	5.83 %
11月	384 人	20 日	19.20 人	1.75 人	6.71 %
12月	362 人	20 日	18.10 人	1.65 人	6.33 %
1月	337 人	19 日	17.74 人	1.61 人	6.20 %
2月	338 人	19 日	17.79 人	1.62 人	6.22 %
3月	299 人	20 日	14.95 人	1.36 人	5.23 %
合計	4,253 人	243 日	—	—	—

◎曜日別集計

曜日別	乗車人数 (往復延べ)	稼働日数	1日あたりの 乗車人数	1便あたりの 乗車人数	乗車率
月曜日	926 人	46 日	20.13 人	1.83 人	7.04 %
火曜日	918 人	51 日	18.00 人	1.64 人	6.29 %
水曜日	723 人	49 日	14.76 人	1.34 人	5.16 %
木曜日	845 人	50 日	16.90 人	1.54 人	5.91 %
金曜日	841 人	47 日	17.89 人	1.63 人	6.26 %
合計	4,253 人	243 日	—	—	—

◎便別集計

便別		乗車人数 (延べ)	稼働日数	1日あたりの 乗車人数	1便あたりの 乗車人数	乗車率
つむぎの湯発	9:53発	398 人	243 日	1.64 人	1.64 人	6.30 %
	12:40発	171 人	243 日	0.70 人	0.70 人	2.71 %
	14:35発	158 人	243 日	0.65 人	0.65 人	2.50 %
	15:25発	182 人	243 日	0.75 人	0.75 人	2.88 %
	17:20発	254 人	243 日	1.05 人	1.05 人	4.02 %
鯉沢口発	9:10発	355 人	243 日	1.46 人	1.46 人	5.62 %
	11:00発	378 人	243 日	1.56 人	1.56 人	5.98 %
	13:40発	706 人	243 日	2.91 人	2.91 人	11.17 %
	15:00発	412 人	243 日	1.70 人	1.70 人	6.52 %
	16:57発	900 人	243 日	3.70 人	3.70 人	14.25 %
	17:42発	339 人	243 日	1.40 人	1.40 人	5.37 %
合計		4,253 人	—	—	—	—

◎1人あたりコスト

委託費－運賃 その他経費 利用人数

9,609,288 + 56,120 ÷ 4,253 = 2,273 円

◎利用料収入

— 円

コミュニティバス六郷循環線線 運行結果

令和6年3月末現在

◎車の形状： 9人乗りバス（マイクロバス）

◎運行期間： 令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日 までの平日
（水、土、日、祝日、12/29～1/3は連休）

実運行日数： 193 日
運休・欠行： なし
走行距離： 115 km ※（車庫 to 車庫）/日

◎乗車数	総数	2,017 人	（往復延べ人数）
	1 日平均	10.45 人	
	1 便平均	3.48 人	
	全体乗車率	38.71 %	

◎月別集計

月別	乗車人数 （往復延べ）	稼働日数	1日あたりの 乗車人数	1便あたりの 乗車人数	乗車率
4月	158 人	16 日	9.88 人	3.29 人	36.57 %
5月	160 人	16 日	10.00 人	3.33 人	37.04 %
6月	169 人	17 日	9.94 人	3.31 人	36.82 %
7月	154 人	16 日	9.63 人	3.21 人	35.65 %
8月	165 人	17 日	9.71 人	3.24 人	35.95 %
9月	168 人	16 日	10.50 人	3.50 人	38.89 %
10月	197 人	17 日	11.59 人	3.86 人	42.92 %
11月	184 人	15 日	12.27 人	4.09 人	45.43 %
12月	181 人	16 日	11.31 人	3.77 人	41.90 %
1月	156 人	15 日	10.40 人	3.47 人	38.52 %
2月	127 人	15 日	8.47 人	2.82 人	31.36 %
3月	198 人	17 日	11.65 人	3.88 人	43.14 %
合計	2,017 人	193 日	—	—	—

◎曜日別集計

曜日別	乗車人数 （往復延べ）	稼働日数	1日あたりの 乗車人数	1便あたりの 乗車人数	乗車率
月曜日	567 人	46 日	12.33 人	4.11 人	45.65 %
火曜日	474 人	51 日	9.29 人	3.10 人	34.42 %
木曜日	512 人	50 日	10.24 人	3.41 人	37.93 %
金曜日	464 人	46 日	10.09 人	3.36 人	37.36 %
合計	2,017 人	193 日	—	—	—

◎便別集計

便別	乗車人数 （延べ）	稼働日数	1日あたりの 乗車人数	1便あたりの 乗車人数	乗車率
9:00発（岩下発）	622 人	193 日	3.22 人	3.22 人	35.81 %
11:00発（つむぎ発）	669 人	193 日	3.47 人	3.47 人	38.51 %
16:00発（つむぎ発）	726 人	193 日	3.76 人	3.76 人	41.80 %
合計	2,017 人	—	—	—	—

◎1人あたりコスト

委託料 運賃 乗車人数
6,098,800 - 14,000 ÷ 2,017 = 3,017 円

◎利用料収入

— 円

1. 市川三郷町地域公共交通計画の骨子案（2024年11月時点）

各種調査で把握すべき項目を整理するため、想定される課題・方向性等を整理しました。

市川三郷町が目指す まちの姿

- 総合計画では、まちづくりの将来像を「自然・歴史・文化を活かした「にぎわい」づくり～子どもたちの未来へ伝統と安心をつなげて～」としている。
- 財政非常事態宣言を発出し、行財政改革を推進している。行財政改革の中で「施設のあり方や有効活用策についての検討を最優先で取り組むとともに、既存の地域交通体制を抜本的に見直す」こととしている。



市川三郷町地域公共交通の課題（想定）

- ① 高齢者を中心とした交通弱者への交通サービス提供
- ② 公共交通不便地域における移動手段の確保
- ③ 地域ニーズに即した公共交通サービスの効率化
- ④ 住民や民間と連携した公共交通サービスの担い手確保



市川三郷町地域公共交通の現状

- 高齢化が進行しており、町民の約4割が高齢者となっている。
- 人口は駅周辺に集中しており、一部山間部にも集積が見られている。
- 商業施設・医療施設は、駅周辺部に集中している。一方で山間部には施設の立地が見られない。
- 主に通勤・通学において甲府市など町外への移動がみられている。
- 旧町単位ごとに移動特性が異なる。
- 交通事業者においては、ドライバー不足やドライバーの高齢化を抱えている。
- 町内には公共交通のほか、富士川病院シャトルバス、隣接自治体コミュニティバス等の輸送資源がある。その他、移動スーパーも運行されている。
- 年間23万人ほどの観光来訪者が訪れており、重要な産業となっている（令和4年度）。

基本理念（想定）

交通弱者の暮らしを支える
地域と一体となった
持続可能な 地域公共交通

目指す姿（想定）

- ① 地域公共交通で買い物・通院ができる
評価指標（令和7年度に検討）
- ② 地域公共交通で市街地までおでかけできる
評価指標（令和7年度に検討）
- ③ 地域公共交通で市街地内の移動がしやすい
評価指標（令和7年度に検討）
- ④ 地域公共交通が他分野のまちづくりを後押しする
評価指標（令和7年度に検討）
- ⑤ 地域公共交通をみんなで支える
評価指標（令和7年度に検討）

施策・事業（イメージ）

施策① 広域交通の維持・拡充

- ・ JR身延線の維持
⇒関係者との協議
- ・ その他交通サービスの研究
⇒近隣市町との連携、送迎サービスの活用など

施策② 町内交通の再編

- ・ 町営コミュニティバスの再編
⇒山間部から中心部をつなぐサービスの提供（定時定路線型、デマンド型、自治体版ライドシェア等）
⇒中心部内における移動サービスの検討・提供（定時定路線型、デマンド型等）
- ・ その他交通サービスの研究
⇒地域主体の交通サービス等

施策③ 交通・まちづくりの連携

- ・ 交通サービス同士の連携強化
⇒ダイヤ調整、待合環境整備
- ・ 交通と施設の連携強化
⇒企画乗車券の検討・導入
※公共施設再編と連携

施策④ 公共交通の利用促進

- ・ 情報発信の強化
⇒総合交通マップ等の作成
- ・ 利用機会の創出
⇒無料券の配布 等

2. 各種調査で把握すべき内容

前ページまでの内容を踏まえ、各種調査で把握すべき項目を整理しました。
※各種調査では下記項目に加えて、“基本的に把握すべき項目（普段の移動状況や年齢、性別など）”も把握します。

表 各種調査における把握項目と設定意図

把握すべき項目（案）	集計・分析のイメージ	把握するための調査		
		アンケート 町民	アンケート 中高生	町営コミュニティ バス利用者 アンケート
高齢者や中高生の移動状況、困りごと	【課題①と関連】 ・交通弱者（自家用車を持たない方など）の買物先・通院先等を具体的に把握し、求められる交通サービスを検討する。	●	●	
家族や知人を送迎することに対する負担感	【課題①と関連】 ・送迎状況等を把握し、交通弱者の移動に関する問題点を確認する。	●		
公共交通不便地域の住民の移動状況、困りごと	【課題②と関連】 ・公共交通不便地域から市街地までの移動状況を把握し、公共交通不便地域に求められる公共交通サービスを検討する。	●		
利用している公共交通サービス以外の輸送サービス	【課題③と関連】 ・町内における輸送資源を把握し、活用方策や公共交通サービスとの役割分担を検討する。	●	●	●
ライドシェアが導入された場合の利用意向、ライドシェアドライバーとしての活動意向	【課題④・施策②と関連】 ・ライドシェアの利用ニーズ、担い手の有無を把握し、地域住民が主体となる移動サービスが本町に適しているかを検討する。	●		
市街地内における周遊状況	【施策②と関連】 ・市街地内における周遊の有無を把握し、求められる公共交通サービスを検討する。	●	●	
町営コミュニティバスの効果・必要性	【施策②と関連】 ・町営コミュニティバスの再編に向けて、現状のコミュニティバスが担っている役割や必要性を整理する。 ・また、町営コミュニティバスによる効果を把握し、他分野への波及効果を確認する。			●
公共交通を乗り継ぐ際に重視すること	【施策③と関連】 ・公共交通同士の連携を図る際に利用者が重視することを把握し、施策検討に活用する。	●	●	●
公共交通の認知状況	【施策④と関連】 ・認知状況を確認し、利用促進策の検討に活用する。	●	●	
公共交通を利用するための条件	【施策④と関連】 ・自家用車利用者に対する利用促進策の検討に活用する。	●	●	

各種調査の実施について

< 目 次 >

1. 町民アンケート調査	1
1-1 実施概要.....	1
1-2 調査項目.....	1
2. 中高生アンケート調査	2
2-1 実施概要.....	2
2-2 調査項目.....	2
3. 町営コミュニティバス利用者アンケート調査	3
3-1 実施概要.....	3
3-2 調査項目.....	3

1. 町民アンケート調査

1-1 実施概要

町民の日常的な移動実態や公共交通の利用状況を把握するため、町民アンケート調査（郵送配布・郵送＋WEB回収）を実施する。WEB回収も併用することで、特に若年層からの回収率向上を図る。

配布票数は2,000票を想定する。

▼調査概要（案）

	調査概要
調査対象	15歳以上の町民2,000人（無作為抽出）
調査時期	配布：2024年11月 回収：2024年12月
調査方法	郵送配布、郵送回収 調査票にQRコードを付記し、WEB回答も可能とする

1-2 調査項目

調査項目は次のとおり。

▼調査項目（案）

調査項目	把握項目（概要）
日常生活の移動実態	・買い物、通院、通勤・通学などの日常生活での移動実態（目的地、頻度、交通手段など） ・市街地内における周遊状況 ・送迎に関する負担感、送迎をしてもらう際の心理的な負担 ・余暇活動における外出先、頻度、移動手段 など
公共交通の利用状況	・公共交通の利用の有無、利用実態（利用した公共交通、目的、頻度など） ・公共交通サービスの乗継状況、乗継に関して重視すること ・公共交通サービスの認知状況、利用意向 ・公共交通を利用するための条件 など
公共交通に対する考え方	・公共交通サービスに対する満足度 ・各公共交通サービスの運行内容に対する満足度 ・公共交通に対する町の財政負担に対する考え方 ・公共交通の改善点、改善した場合の利用意向 ・地域協働型交通（ライドシェア等）の利用意向、ドライバーとしての活動意向 など
個人属性	・居住地区、年齢、運転免許の保有状況、世帯人数、バス停までの距離 など

2. 中高生アンケート調査

2-1 実施概要

町民アンケートだけでは、若年層からの回答が少なくなることが想定されるため、町内の中高生を対象にしたアンケート調査を実施する。

日常生活における移動実態、公共交通に対する改善要望等を把握し、「若年層に必要な公共交通サービス」や「若年層に利用してもらうためのポイント」などを整理する。

また、公共交通が進路選択に与える影響を把握し、「公共交通の必要性」も確認する。

▼調査概要（案）

	調査概要
調査対象	町内中学校・高等学校に通う生徒 （三珠中学校、市川中学校、市川南中学校、六郷中学校）青洲高校
調査時期	配布：2024年11月 回収：2024年12月
調査方法	ホームルーム等の時間に調査依頼書（A4サイズ1枚）を配布し、調査依頼書に掲載のQRコードを読み込んでもらい回答してもらうことを想定する。

2-2 調査項目

調査項目は次のとおり。

▼調査項目（案）

調査項目	把握項目（概要）
日常生活の移動実態	・通学状況（居住地、時間帯、晴天時の通学手段、雨天時の通学手段） ・学校生活以外における外出状況（行き先、目的、頻度、移動手段） ・市街地内における周遊状況
公共交通の利用状況	・通学時における公共交通の利用状況（利用する路線、頻度など） ・乗継状況、乗継に関して重視すること ・通学で公共交通を利用する理由、利用しない理由 ・学校生活以外における公共交通の利用状況
公共交通に対する考え方	・公共交通サービスに対する満足度 ・各公共交通サービスの運行内容に対する満足度 ・公共交通サービスの充実度が進路選択に与える影響 ・公共交通の改善点、改善した場合の利用意向 ・公共交通利用のメリットのうち共感できるもの

3. 町営コミュニティバス利用者アンケート調査

3-1 実施概要

町営コミュニティバスの利用者を対象にアンケート調査を行い、公共交通の利用状況やその他輸送サービスの利用状況等を把握する（鉄道・民間路線バスの利用状況は事業者ヒアリングによって把握する予定である）。運行事業者の協力が得られた場合は、ドライバーからアンケート調査協力依頼を行う。

▼調査概要（案）

	調査概要
調査対象	町営コミュニティバスの利用者 ※ただし、近隣自治体と調整可能な場合、富士川町コミュニティバスや身延町コミュニティバス利用者も対象
調査時期	配布：2024 年 11 月 回収：2024 年 12 月
調査方法	アンケート調査票を車内に留め置き、回答してもらうことを想定する。 調査実施期間は 2 週間～1 か月を想定する。

3-2 調査項目

調査項目は次のとおり。

▼調査項目（案）

調査項目	把握項目（概要）
利用状況	・利用した路線名称、利用時間帯、乗降場所 ・往復利用の有無、利用目的、利用頻度 ・移動先における平均支払額（経済効果を把握） など
利用者から評価	・運行内容（ダイヤ、ルート等）に対する評価・改善意見 ・公共交通を利用するメリット ・コミュニティバスがなかった場合の生活の変化、代替移動手段 など
回答者の属性	・性別、年齢、職業、居住地（町内・町外） ・運転免許の有無、自家用車の利用状況 など